

知らない お稲荷さんに 出会う旅



京都・伏見稻荷界隈探訪

阪神高速道路沿線の街に息づくさまざまな文化や暮らしをご紹介する『どらいぶらり』。

今回は、京都の「伏見稻荷大社」とその周辺をご紹介します。関西のみなさまにとっては初詣や商売繁盛祈願でお馴染みの伏見稻荷大社ですが、実は今年、

外国人に人気No.1の日本の観光スポットに選ばれ、

いま国内外の注目を集めるホットな観光地となっています。

そこで、『どらいぶらり』では、知ってるようで知らなかったお稲荷さんの歴史や稲荷山のかくれた見どころ、

参道商店街の人気のおみやげなど、

お寄りな情報や新しい魅力を集めお届けします。

阪神高速8号京都線の上鳥羽出口から

「伏見稻荷大社」までは約2キロ。

ご家族のドライブには格好のコースです。

みなさまにきっと満足していただける

ワンダーランドへご案内しましょう。



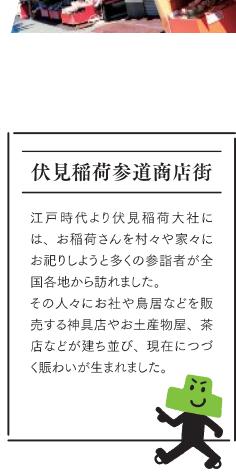
※トリップアドバイザー(世界最大の旅行口コミサイト)に、昨年一年間に日本語以外で投稿された口コミの評価と投稿数とともに選出した“行ってよかった外国人に人気の日本の観光スポット2014”の第1位を受賞。

参道アメイジング商店街

お参りの気持ちも高まるお土産パラダイス！

伏見稻荷大社へとづく神幸道は、老舗の食事処やお土産物屋が軒を連ねる古い参道商店街です。

100年以上も商いを続ける神圓店ややわらぎ店、泰吉やらら鶏卵を拌領したと伝えられる和食屋、



伏見稻荷参道商店街

江戸時代より伏見稻荷大社には、お稻荷さんを村々や家々にお祀りしようと多くの参詣者が全国各地から訪ねました。その人々にお社や鳥居などを販売する神具店やお土産物屋、茶店などが建ち並び、現在につづく賑わいが生まれました。



1. いなりや／お稻荷さんの名物といえばいなり煎餅。白味噌とごまの風味の素朴な味わいが懐かしい。2. 稲荷大神のお使い、白いキツネはご当地の人気No.1キャラクター。3. 大きなつまみが可愛い和柄のがまぐち。4. 称ざめ家／ふっくらと焼き上がったウナギは外国人観光客にも人気の一品。5. 焼きたてのお餅にさな粉と小豆をのせた田舎餅は“お山めぐり”帰りに嬉しいスイーツ。6. 昔ながらの金平糖も心和むアイテムです。7. キツネや鳥居の題材をモダンに表現した手ぬぐいは、外国人観光客の心をくすぐる稻荷みやげです。

商店街の中程にある「いなりや」は手焼きの美味しさにこだわるいなり煎餅のお店。先々代は岐阜で赤味噌を使った大垣煎餅を焼いていましたが、大正7年に当地に移り、京風の白味噌仕立てのいなり煎餅を作り始めました。キツネのお面の煎餅の他にもおみくじ入りの煎餅も人気で、大大吉が出ると金のキツネのストラップがもらえます。

新旧のお店が軒を連ねる参道をゆつくりと歩くと、昔からお稻荷さんとともに商店街の店々が多く人々に愛され、親しまれていたことが実感できます。

かでも外国人観光客に大人気という手ぬぐいは、キツネや鳥居をモチーフに若手アーティストが描いた作品で、私たち日本人も心をくすぐられます。

参道食べ歩きで 伏見名物に舌鼓

参道商店街をめぐる楽しさのひとつは、何といっても店先を彩るさまざまなお土産物を見て歩くこと。名所旧跡のお土産は古風なものと思いがちですが、こちらの商店街では、モダンな感覚や洗練された和風ティエストのお土産が盛り沢山で、思わず目を見張ります。たとえば、現代作家とのコラボから生まれたTシャツやポストカード、ちりめんや友禅を使つてお洒落に仕上げた小物雑貨など。な

モダンでキュートな 稻荷みやげに大興奮

みんなのお稻荷さん



——まずは最初に、伏見稻荷大社のはじまりについてお教えいただけますか。

伏見稻荷大社は、和銅4年（711）の2月（如月）初午の日に、稻荷山の3ヶ峰に稻荷大神がお鎮まりになられたのにはじまるといわれています。その年は五穀が大いに実り、人々は豊かな福を授かりました。“いなり”的名は、イネナル、が短くなったものといわれています。

——いまは商賈繁盛のご利益で知られているのは、どうしてですか。

元来は五穀豊穣を願う食べ物の神さまでしたが、生活を守る神さま、衣食住の大祖として崇められるようになります。やがて、人々から商売繁盛や家内安

全が願われる、また戦国時代に至っては豊臣秀吉が母の病気回復を祈願し、叶ったお礼に楼門を寄進しました。

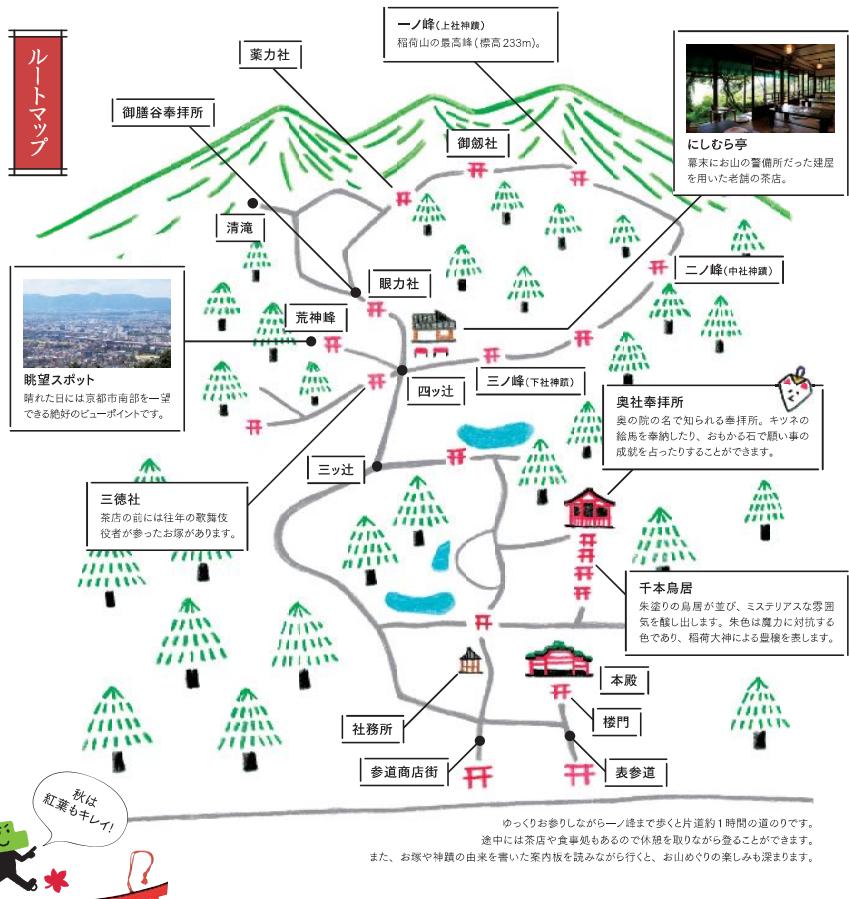
——稻荷山には、さまざまご利益をお願いする多くの神さまの祠があるのはどうしてですか。

稻荷山は稻荷大神がご鎮座された神聖な山であり、古くから多くの参詣者で賑わってきました。お山に祀られているたくさんの神さまは、実は、どれも稻荷大神であり、明治の初め頃から人々がそれぞれの願い事に合わせて別名をつけて石に刻んだものを奉納されたのです。これらを「お塚」と呼びます。

——たくさんのお鳥居には、どのような意味があるのですか。

稻荷山に立つ鳥居や祠にある大小の鳥居もまた、参詣のみなさまが「願いが通るよう」、「あるいは「願いがかなつたお礼」として奉納したものですね。

このように伏見稻荷大社は、昔からお稲荷さんを信仰する人々を広く受け入れ、親しまれてきました。そんな間口の広さが、多くの外国人観光客が訪れる理由のひとつかもしれません。これからも多くの方々が幸せを求める「庶民の信仰の社」として、みなさまのご参詣をお待ちしています。



(左) 奥社奉拝所／元々はキツネの目だったものを眉に見立て、参詣者が思い思に顔を描き始めたという可愛いキツネの絵馬。
(右) 千本鳥居／失禮の鳥居が連なって立つ風景は多くの外国人も“ミステリアス！”と賞賛するスポットです。



お福ちゃんの歴史を分かりやすく教えてくださった神職の志賀直祐さま

稻荷みやげのルート、伏見人形

稻荷山の土から生まれた 伏見人形

昔、伏見稻荷に参詣した人々は稻荷山の土を持ち帰り、田畠にまいて五穀豊穣を願つたといいます。やがてお稲荷さんの参道では、参拝客に靈験あらたかなお山の土を丸めて小さなつぶてにしていましたが先られるようになり、それが皿や壺となり、江戸時代には土で作つた人形となりました。子供のためのお土産物として絶大な人気を誇つた伏見人形は、参詣客

父と母のどちらが好きかと尋ねられた子供が、手にした鏡頭を2つに割って、どちらがうまい、と問い合わせたという逸話から生まれた伏見人形の代表作。



伏見人形の伝統を 受け継ぐ「丹嘉」

伏見稻荷の参道からほど近い街道沿

はもとより、参勤交代や北前船によつて日本国内へと広められました。さらにそれぞの土地では伏見人形を手本に農閑期の内職として土人形作りが行われるようになつたため、全国に約90種類以上ある土人形の中で伏見人形の系統を引かなるものはないといわれています。

いに、大きなれんを揚げた重厚なたたずまいのお店があります。今日では、伏見人形を製造販売する唯一の老舗となつた「丹嘉」です。創業は寛延年間（1748～1750）、いまも江戸時代の型を用い、伏見人形の伝統を継続と受け継いでいます。現在、使つている原型、土型は約2000種で、往事の風俗や伝説を人形に表現したもののがほとんどです。

当時、人気を極めた歌舞伎役者やすもうの力士、さらには朝鮮からやって来た使節団の通信使など、時事的な要素も含ま

れます。
7代目当主の大西時夫さまを訪ね、工房を見ました。伏見人形の制作工程は季節によって2つに分かれ、夏場はベースとなる土人形を作り、冬場は彩色の工程となります。現在は米作の干支人形を制作中で、白い顔料をニカラワと水を加え、加熱しながら調合した下地を塗る工程が続きます。

昔の人にならって、稲荷詣での帰りにお入りの伏見人形を見つけて寄り道してみるとも素敵な体験です。



夢枕に立った狐の相づちで名
刀を打つ三条小鍛冶の人形。



25軒のお店が現代にふさわしい参道の賑わいを創出。

参道商店街をまとめる稻栄会会長の村上理郎さまは、伏見稻荷大社御用達の御鏡餅所「末吉餅」のご主人です。創業100有余年という老舗のお餅専門店としてお稲荷さんの各祭事に鏡餅を納め、毎月、全国から訪れる参詣客に各種ローソクなどを販売してきました。「時代の移り変わりとともに、参道を行く方々も、信者さんから一般的な参詣客、観光客へと大きく変化してきました。当店でも数年前から土産物の品揃えを増やし、お客様のご要望に応えながら営業を続けています。さらに、最近は外国人観光客の方が急増したため、商店街の



稻栄会会長
有隣会社末吉餅代表取締役
村上 理郎さま

外国人観光客に聞きました。「お稲荷さんってどんなところ？」



伏見稻荷へ来たのは3度目。2008年に最初に来た時はこんなに外国人がいなかった。千本鳥居がとてもユニークで静寂な空気感がとても好きなんだ。ずっとまた来ると思ふ。(From イングランド)

イタリアで出発する時に旅行代理店で伏見稻荷の話を聞いて行ってみたいと思った。カラフルな鳥居や建物が素敵だったわ。参道の商店街の飲食店やお土産物もとても楽しかった。(From イタリア)

伏見稻荷参道商店街

INFORMATION

<http://www.fusimi-inari.com/>
アクセス／阪神高速8号京都線上鳥羽出口
から府道201号を直進。師団街道竪大前交差点をこえて突き当たりを左折。

① 祇め家
☎ 075-641-0802
営業時間／10:00～18:00 ④不定休

② 末吉餅
☎ 075-641-0556
営業時間／8:00～17:00 ④年中無休

③ 鶴見 KACCO(カッコ)
☎ 075-641-5527
営業時間／10:00～17:00 ④年中無休

④ 伏見稻荷参道茶屋
☎ 075-642-6426
営業時間／10:00～17:30 ④火曜日

⑤ 伏見『布遊舎』
☎ 075-645-4010
営業時間／10:00～17:00 ④年中無休

⑥ いなりや
☎ 075-641-1166
営業時間／8:30～17:30
④毎月1日、祝祭日を除く金曜日

伏見稻荷大社

INFORMATION

〒612-0882 京都市伏見区深草森之内町68番地 ☎ 075-641-7331 駐車場／無料(但し、参詣者のみ)



伏見工リアで京都の技を体験

京の手しごとにチャレンジ!!

京町家で和菓子作り体験
総本家駿河屋伏見稻荷店

京の美意識“はんなり”を体感

駿河屋伏見稻荷店は、創業から90年にわたり地域の人々に愛される和菓子店。四季折々のお菓子やあつさりとした味わいが特徴の「でっち羊羹」が人気です。さらに風格あるお店の建物は、京都市景



四季折々の自然を映す京菓子。日常の暮らしの中で季節を味わう贋沢に、京都らしさを実感します。

観・まちづくりセンターの京町家カルテに後世に残したい町家として登録されています。

見上げるような天井と太い梁のある空間での体験は、3代目当主山村敏和さまのレクチャーからスタートします。元々、地元高校の依頼で和菓子について講演したことをきっかけに始まった体験コースだけあって、「はんなり」とした色合いや、かつては仏師が彫ったという木彫など、京都の和菓子の魅力です。



素晴らしさについて興味深い話が次から次へと飛び出します。そして、いよいよ和菓子作り。まずはピンポン球を使って手順を習つたら、生地を丸め、餡をつめて、木型に入れて季節の和菓子を作ります。山村さまの丁寧な指導の下、親子いつしよでも安心して体験を楽しむことができます。でしきあがつた自分だけの京和菓子をその場でいただけるのも大きな魅力です。

和菓子作り体験のステップ



1.手で均一に丸めた生地を木型に入れて、やさしく押す。
2.木型によって花の文様がついた生地に手を添え、形を整える。
3.ばかりの技法を用い、はんなりとした色合いの京菓子ができるがり。
4.ばかりの技法を用い、はんなりとした色合いの京菓子ができるがり。



何人の職人が色彩をする工房の様子は、現在ではここ岡山工芸でしか目にすることができない貴重な風景です。

友禅染見学・体験
岡山工芸

伝統工芸の技と心に触れる

岡山工芸は、手描き京友禅のスペシャリストである伝統工芸師を3人も擁する工房で、伝統技術を後世に伝えようと実施している見学・体験コースは一般の方だけでなく、海外からの視察団や着物業界の研修にも利用されています。图案の段階から糊置きや色合わせ、彩色など、昔ながらの工程のはんなりが見られるのは、今日ではこの工房だけです。

見学・体験コースは、映像やパネルを使った手描き友禅の解説からスタートし



(左) 細密な図柄と繊細な色彩が競りなす手描き友禅の美。まさに京の伝統工芸です。
(右) 糊置きされたハンガチの生地に筆で彩色する体験コース。緊張で筆先が震えます。

ます。水と染料を含ませたハケを使い、見事にグラデーションを描く「ばかり」の技法には思わず息を呑みます。友禅染に関する基本的な知識を学んだ後は、10数人の職人たちが仕事をする大きな工房を見学。寸分の狂いもなく、图案に沿つて布の上に糊を置く工程や、大小の筆を使って鮮やかに彩色していく様子は圧巻です。体験では、見学した彩色の工程をハンガチの上で実際に行います。すでに糊置きされているため、塗り絵のような感覚でお子さまでも彩色ができます。水洗いや縫製を施し、後日届けられると作品を手にした時の喜びは格別です。

総本家駿河屋伏見稻荷店「京町家で和菓子作り体験」

INFORMATION

〒612-0012 京都市伏見区深草一ノ坪町29 ☎075-641-1221

営業時間：8:00～18:00（休定休 駐車場／2台

アクセス／阪神高速8号京都線鴨川西出口を出て左折・十条通から

師団街道へ右折し、稻荷大社前交差点を左折。路切をこえてすぐ左折。



和菓子作りをレクチャーしてくださった3代目当主 山村さまご夫婦

MAP



岡山工芸「友禅染見学・体験」

INFORMATION

〒612-0029 京都市伏見区深草西浦町8丁目2-2 ☎075-643-4317

<http://www.okayama-kougei.com>

営業時間：8:30～17:30（休第2・3土曜・日・祝・夏期休暇・年末年始 駐車場／1～2台

アクセス／阪神高速8号京都線上島羽出口から府道201号を直進。

竹田久保町交差点を右折、2つ目の信号を左折。



手描き友禅の解説や体験を指導してくださった 工場長の合田さま

【見学・体験】

料金／1個1,080円、2個1,720円 定員／2～15人

所要時間／40～60分 申込方法／1週間前までに電話予約

※年末年始は体験コースを休みます。

料金／見学のみ200円(高校生以下は見学のみ無料)、端切れ友禅体験300円(お持ち帰り自由)、ハンガチ友禅体験1,500円+送料別途(水洗い・縫製等加えて、後日完成品をお送りします)
定員／見学1～50人程、端切れ彩色友禅体験1～30人程、ハンガチ染め体験それぞれ約30分
開催日／第2・3土曜・日・祝・夏期休暇・年末年始除く
所要時間／見学(パネル説明、ビデオ、工房案内等)約30～60分、端切れ・ハンガチ染め体験それぞれ約30分
申込方法／5日前までに電話またはホームページ内のメールフォームよりお申し込みください。担当:合田(ごうだ)まで
※業務の都合上、お断りさせていただく場合もありますのでご了承ください。
※お問い合わせ、ご要望等ございましたら、その都度対応させていただきます。